

## 8月は「部落差別等あらゆる不当な差別をなくす運動月間」です

1965（昭和40）年8月、同和問題の「早急な解決こそ国の責務であり、同時に国民的課題である」とする同和対策審議会答申が出されました。大分県では、国の同和対策審議会答申が出された8月を「部落差別等あらゆる不当な差別をなくす運動月間」としてさまざまな差別解消の取り組みをしています。日出町においても、この運動月間中、講演会をはじめさまざまな人権問題に関する理解を深めていただくための各種啓発活動の取り組みを行っています。誰もが自分らしく幸せに暮らしていける社会の実現に向けて、まずは「私」自身が差別をなくすために行動してみませんか。



### 広く浅く～人権クイズ

○か×で  
お考えくだ  
さい

○ ちょっとだけ多文化探検 ○

**問題** カムイとは、アイヌ語で「人間」のことである。

【資料1】

「アイヌ」とは「人間・人」を表します。アイヌ語では、本当に立派な人を「アイヌ・ネノ・アン・アイヌ＝人間らしい人間」という使い方をします。  
「アイヌ」とは、「カムイ」（自然界の全てのものに心があるという精神に基づいて自然を指す呼称）に対する概念としての人間です。

**答え × カムイとは・・・自然界のすべてのものに心があるという精神に基づいて自然を指す呼称です。**

【資料2】

**身近なアイヌ語**  
明治時代以降の同化政策を背景に、アイヌ語を後世に引き継ぐことが困難な状況になりました。一度は滅亡寸前の言語と言われたことがありましたが、現在では、アイヌ語復興の動きが活発に展開されています。

**知床**  
「台地の先」の意味

**札幌**  
古くは川があり、「乾く・大きな・川」あるいは「その葦原が・大きな・川」の意味

**登別**  
又プル・ペツ「濁った・川」かつては硫黄泉が川に流れ込んで水が濁っていたといわれている

**室蘭**  
モ・ルエラン「小さい・坂」  
※他にもたくさんありますが、これらの言葉を口にするたび、私たちはアイヌ語を使っていることになりませぬ。

**問題** 日本でも韓国でもお椀は手に持って食べる。

**答え × 韓国ではお椀を置いて食べます。ちなみに日本では箸は横向きに置きますが、韓国では縦向きに置きます。**

●日本人がおどろく韓国の習慣●

【年上の人の前ではタバコが吸えない】

年上の人の前ではタバコは厳禁。家で父親の前で吸うのもご法度です。

【お酒を飲むときは横を向く】

自分と同年齢の場合はお互い向き合って飲むが、自分より年上の人の前でお酒を飲むときは、横を向いて飲むのが礼儀。横を向くのはお酒に口をつけるときだけで、話している時は向き合います。年下の人が緊張しないよう、年上の人が気を使って「自由にやりましょう」と声をかける場合があります。

●韓国人がおどろく日本の習慣●

【女性が男性にお酒をつく】

女性が家族や親せき以外の男性にむやみにお酌するのはよくない、という考えが残っています。しかし、最近では若い世代を中心にそういった認識は薄れつつあり、会社の飲み会などでは男女問わずお酒を注ぎあう様子も見られるようです。

【食堂でキムチに値段がついている】

韓国の食堂ではキムチは食事についてくるおまけ。だから、値段はついておらず、おかわりも自由にできます。

日本以外の国々や、国内にもある様々な文化や歴史を見つめ直すと、新たな発見があります。そして私たちの「今」と密接につながっていることにも気がつくます。お互いの違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら地域社会の構成員として共に生きていきたいものです。

私は、女性として生まれてきましたが、

「男っぽ。」

「男っぽ」って言われます。自分でも普通の女性だとは思っていません。でも普通って何だよって考えることもあります。男っぽ「男っぽ」って言われるのは自分の個性の部分だと思っていて、そのあまり嫌な思いをしてくれません。

でも、そんな自分を否定してくる人もいます。私がスカートやワンピースではなく、男っぽの服装などを好んで着ている時、

「似合わないよ。やめなよ。」

「恥ずかっ。」

隣で歩かないで。離れて。」

言われたこともありますが、伸ばしていた髪を切って刈り上げたり、マッシュやセンター分けなどのカッコイイ髪型をしたらと言ったりした時には、

「なんかこの髪型ウザいな。」

言われたこともあります。

私は、何か診断を受けたわけじゃないし、「LGBTQのどれでもないかもしれないけど、最近SNSで見るとLGBTQの方々は同じように自分を否定されたり、アンチコメントを書かれたりしていますが、堂々と

「自分は自分だから。」

「これも自分の個性。」

と言って自分の個性をSNSで発信し、同じ悩みを持つ人にメッセージを送っています。その姿はともカッコイイ、

自分もこういう大人になりたいと思えました。

「LGBTQだけでなく、違う国に住む人への偏見・差別、障がいのある人への偏見・差別など世界全体で色々な差別が起きています。そこで、私はみんなが個性を尊重しあったり、認め合ったりできる



人権イメージキャラクター 人KENまもる君 人権イメージキャラクター 人KENあゆみちゃん

方法を二つ考えました。

一つ目は、相手のことをよく知ることです。差別やアンチコメントを書く人のほとんどは相手のことをよく知らずに自分の思ったことを言っています。私の場合は見た目のことを言われましたが、同性愛者の方は、『同性なら誰でも好き』と勘違いされて同性の方「狙われる」と気味悪がられることがあるそうです。

私にも好きな人がいたことがありますが、その人が好きなだけで、どんな性別かを選んでいません。大切なのは好きな人が同性かどうかではなく、誰が好きかということだと思います。差別する人の中にも、相手のことを知るだけで、考えが変わる人も出てくるかもしれません。

二つ目は、自分の考えを持つことです。これは、差別する人もされる人もですが、「自分はこう思う。」「こう考える。」

理由までしっかり考えて、自分と違う考えを持つ人と話してみることが大切だと思います。特に、差別をする人の中には、何も考えずに人を傷つけていることがあります。そんな人は、一度、自分の行動や言動が相手を傷つけていないか、見直すことが必要だと思います。そうすれば、自然と相手の嫌がるようなことをしなくなって、嫌な思いをする人もいなくなるし、みんなが相性を尊重し、認め合えると思います。

誰にだって好き嫌いはあると思います。自分にも、少し苦手だと思っ人が何人かいるし、それは、あまり悪いことだと思いません。ただ、相手のことを何も知らずに傷つけたり、その人の個性を認めず、否定したりすることは別です。

「個性を尊重しない・否定する」ということと、「相手を嫌いだ」と思っ「こと」は別ですが、どこが違うのかを教えてもらったことはありません。私は、前者と後者の違いは、相手を攻撃してるか・してないかだと考えています。例として、自分は野菜が嫌いですが、だからといって投げ出したり燃やしたり暴言吐いたりしません。相手のことが嫌いなら、苦手なら関わらなければいい。相手のことが嫌いというだけでわざわざ攻撃する人はいないと考えました。

自分にも苦手だと思っ人はいるけれど、その人の個性を認めず、否定したり、差別する人に自分もなってしまうないように相手のことをよく知って自分の考えをしっかりもってよく考えて行動していきたいと思います。そして、自分の考え方を堂々と言えるカッコイイ大人になれるよう、努力したいです。